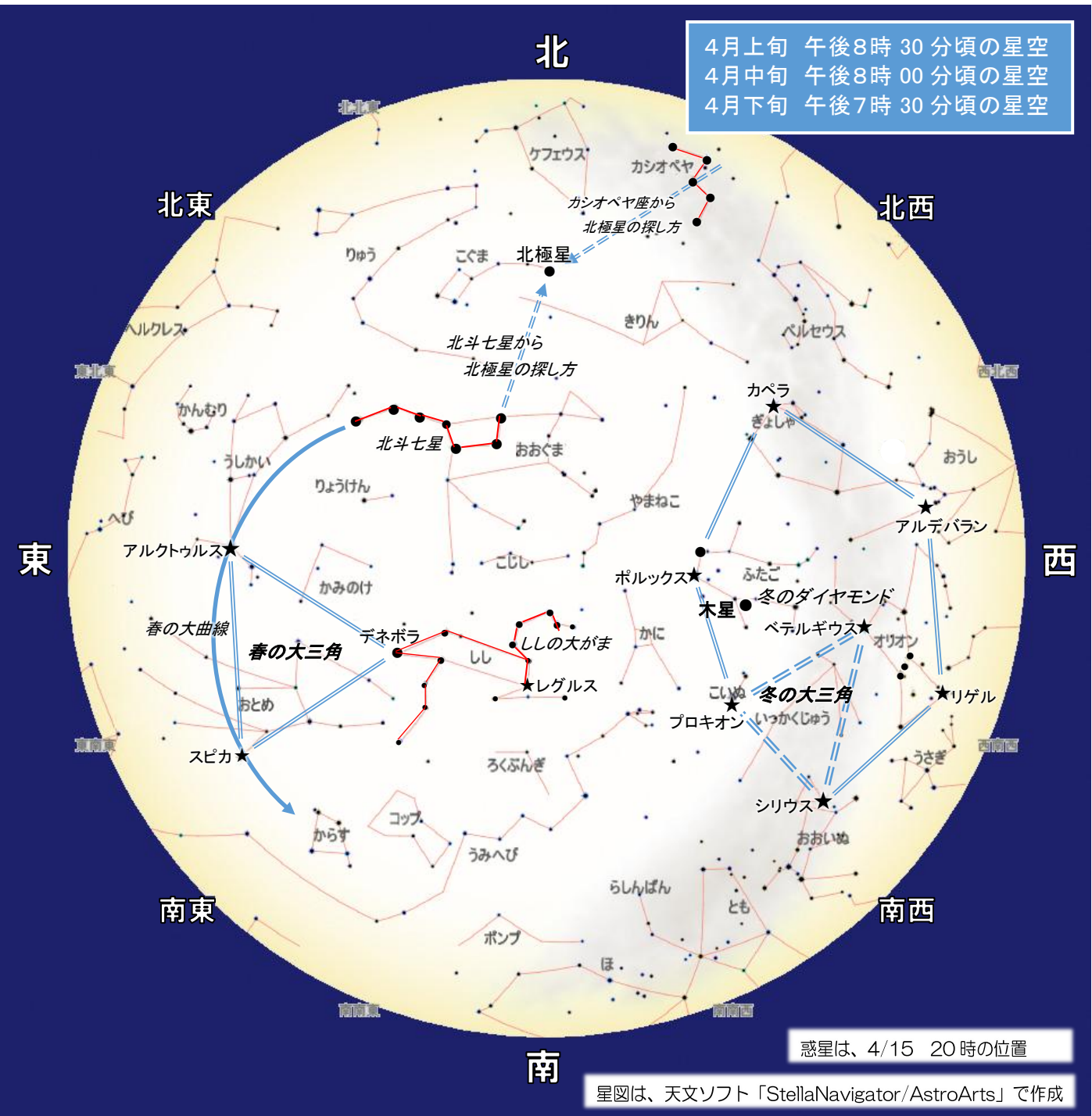


2026年 4月の星空案内



【4月の星空】
 夕方の西の空には、まだ冬の星座が目立ちます。東の空に春の星座がのぼってきます。北斗七星の曲がった柄の部分を変ばすと、うしかい座の1等星「アルクトゥルス」、その先には おとめ座の1等星「スピカ」が見つかり、この曲線を『春の大曲線』といいます（さらに延ばすと「からす座」）。南の空高く、太陽の通り道に輝く、しし座の1等星「レグルス」は、小さな王様という意味です。『春の大三角』は、しし座のしっぽの2等星「デネボラ」、うしかい座の「アルクトゥルス」、おとめ座の「スピカ」を結びます。

【4月の天文現象】
 4月19日の夕方、西北西の低空で月齢2の細い月とよい明星の「金星」が接近して見えます。また、24日の夕方には、同じく西北西の空で、「金星」が「プレアデス星団（すばる）」に接近します。「金星」の近くには「天王星」もあり、双眼鏡で金星をたよりに天王星をさがしてみるチャンスです。